
 **愛知電機株式会社**

2026年3月期

第2四半期（中間期）

決算説明会

2025年11月

証券コード

6623

1. 2026年3月期第2四半期 決算概要
2. 2026年3月期 通期業績見通し
3. 資金配分・株主還元

2026年3月期第2四半期 決算概要

経営環境

電力機器分野は需要堅調。回転機分野は空調市場の回復が緩やかにとどまり、自動車市場では世界的にBEV需要の成長が鈍化。プリント基板分野は生成AI関連の需要が堅調な一方で、汎用サーバ市場の回復が想定より遅れ。

当社の業績

2期連続で増収増益。

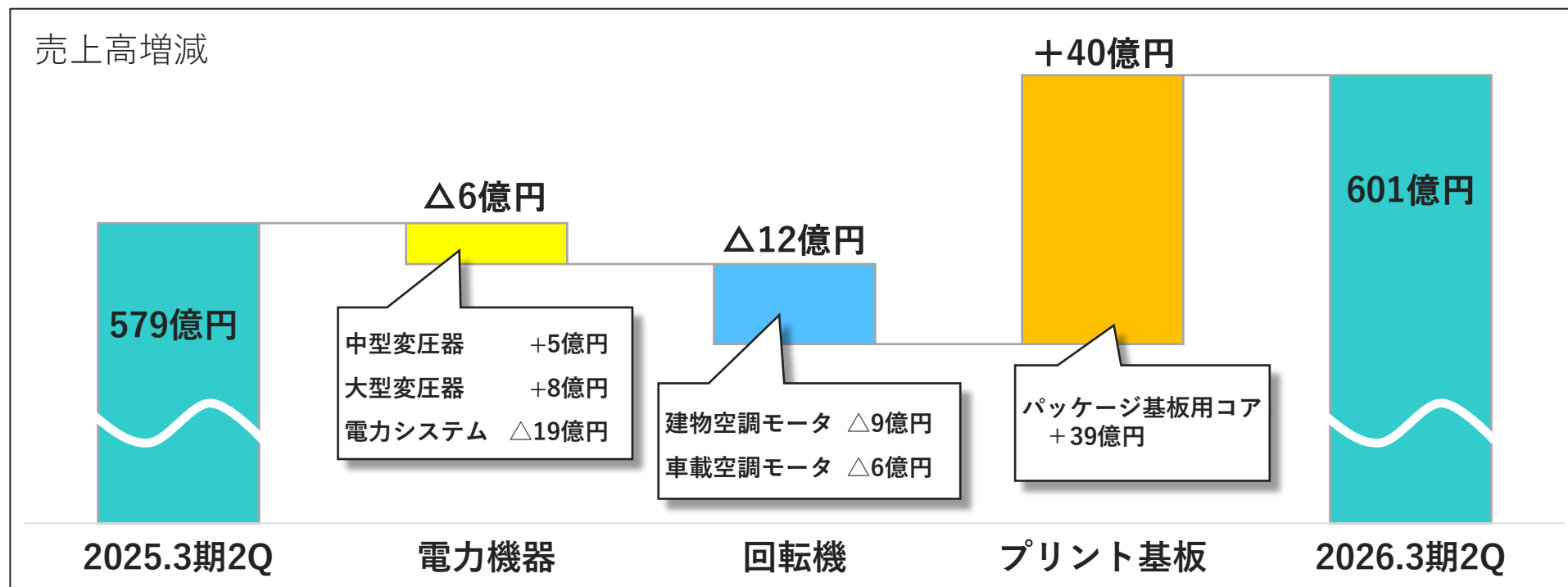
中間期としては**売上高、営業利益、中間純利益が過去最高**。特にプリント基板事業が好調に推移。

(単位：億円)

	2026.3期 2Q 当初予想	当初予想比		2026.3期 2Q実績	前年同期比		2025.3期 2Q実績
		増減額	増減率		増減額	増減率	
売上高	595	+6	+1.1%	過去最高 601	+22	+3.8%	579
営業利益	28	+23	+83.4%	過去最高 51	+10	+26.0%	40
経常利益	28	+26	+94.4%	54	+8	+19.5%	45
親会社株主に帰属 する中間純利益	18	+20	+112.2%	過去最高 39	+7	+22.4%	32

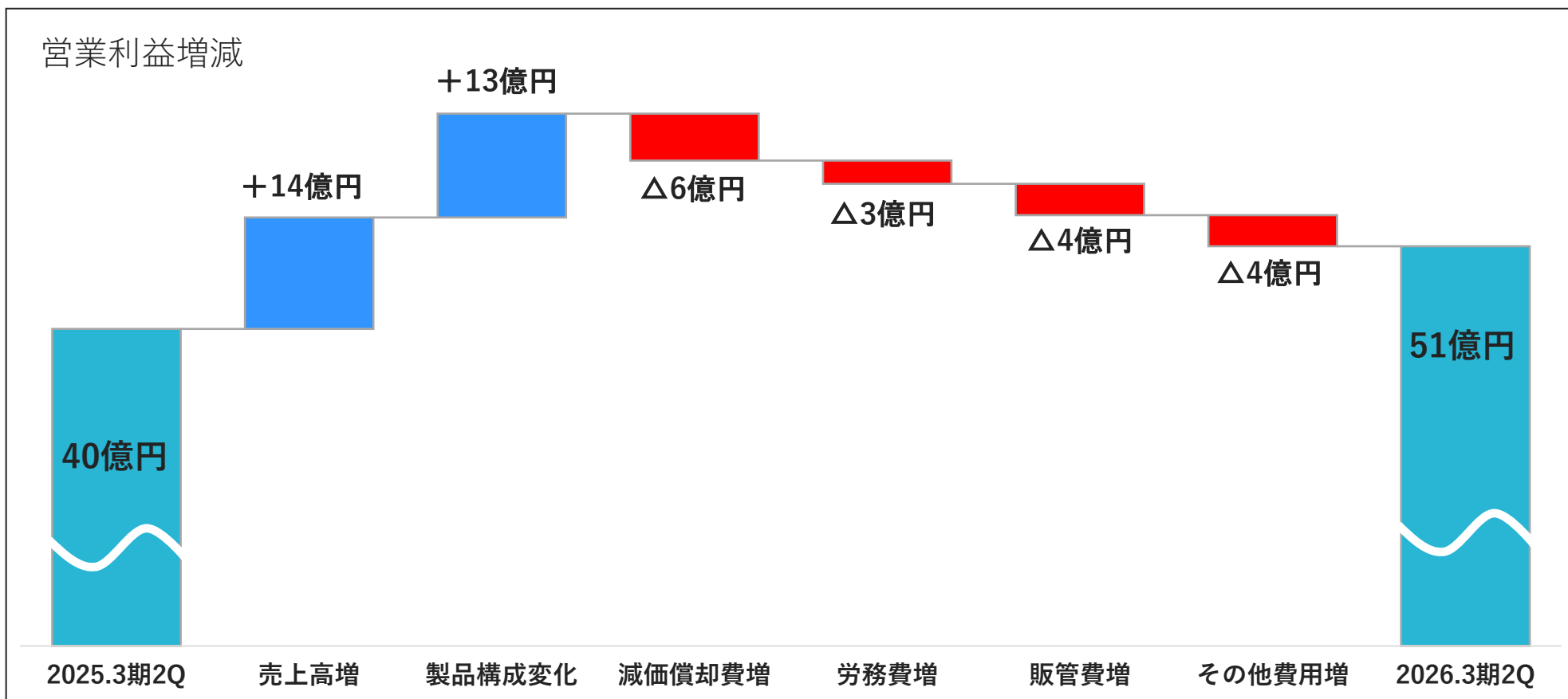
売上高増減要因（前年同期比）

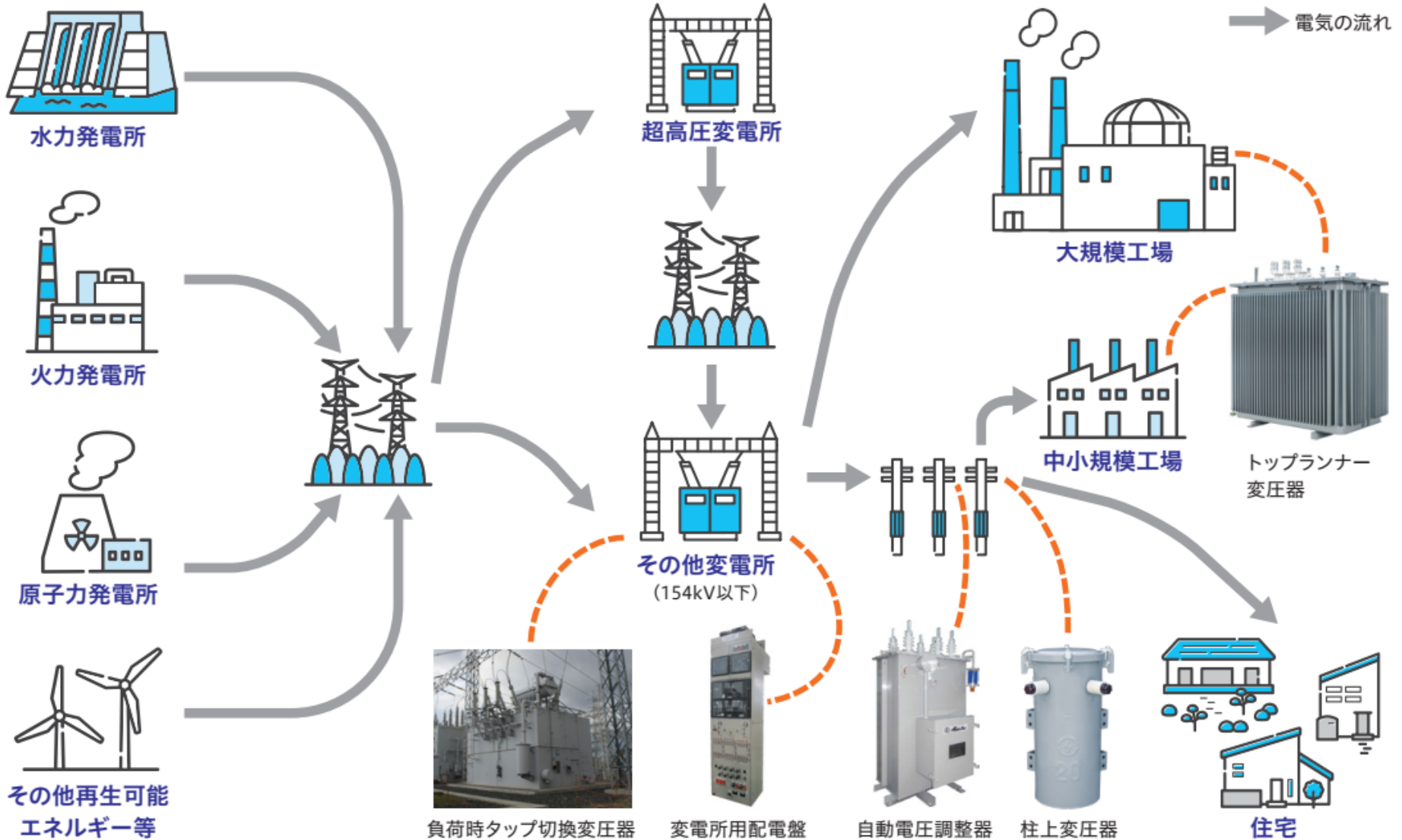
- 前年同期比**22億円**の増収。
- 電力機器事業は、前期のウクライナ向け大型変圧器売上の反動減により減収も、中型・大型変圧器が一般送配電会社向け、一般産業向けともに堅調。
- 回転機事業は、中国子会社で建物空調モータおよび車載空調モータの受注減少により減収。
- プリント基板事業は、パッケージ基板用コアの受注が好調に推移し増収。



営業利益増減要因（前年同期比）

- 前年同期比**10億円の増益**。
- パッケージ基板用コア新工場（新発田工場）の順次稼働により減価償却費等固定費が増加したものの、プリント基板事業の売上高増および製品構成変化により増益。





電力機器事業としては減収増益

売上高 (単位：億円)

	2025.3 2Q実績	2026.3 2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
小型変圧器	31	32	+0	+3.1%
中型変圧器	45	51	+5	+12.9%
大型変圧器	10	18	+8	+83.3%
制御機器	32	33	+0	+2.0%
電力システム	32	12	△19	△60.5%
産業システム	4	2	△1	△38.1%
その他	18	18	△0	△4.3%
計	175	169	△6	△3.5%
セグメント利益	19	22	+3	+16.3%

《セグメント売上高比率》

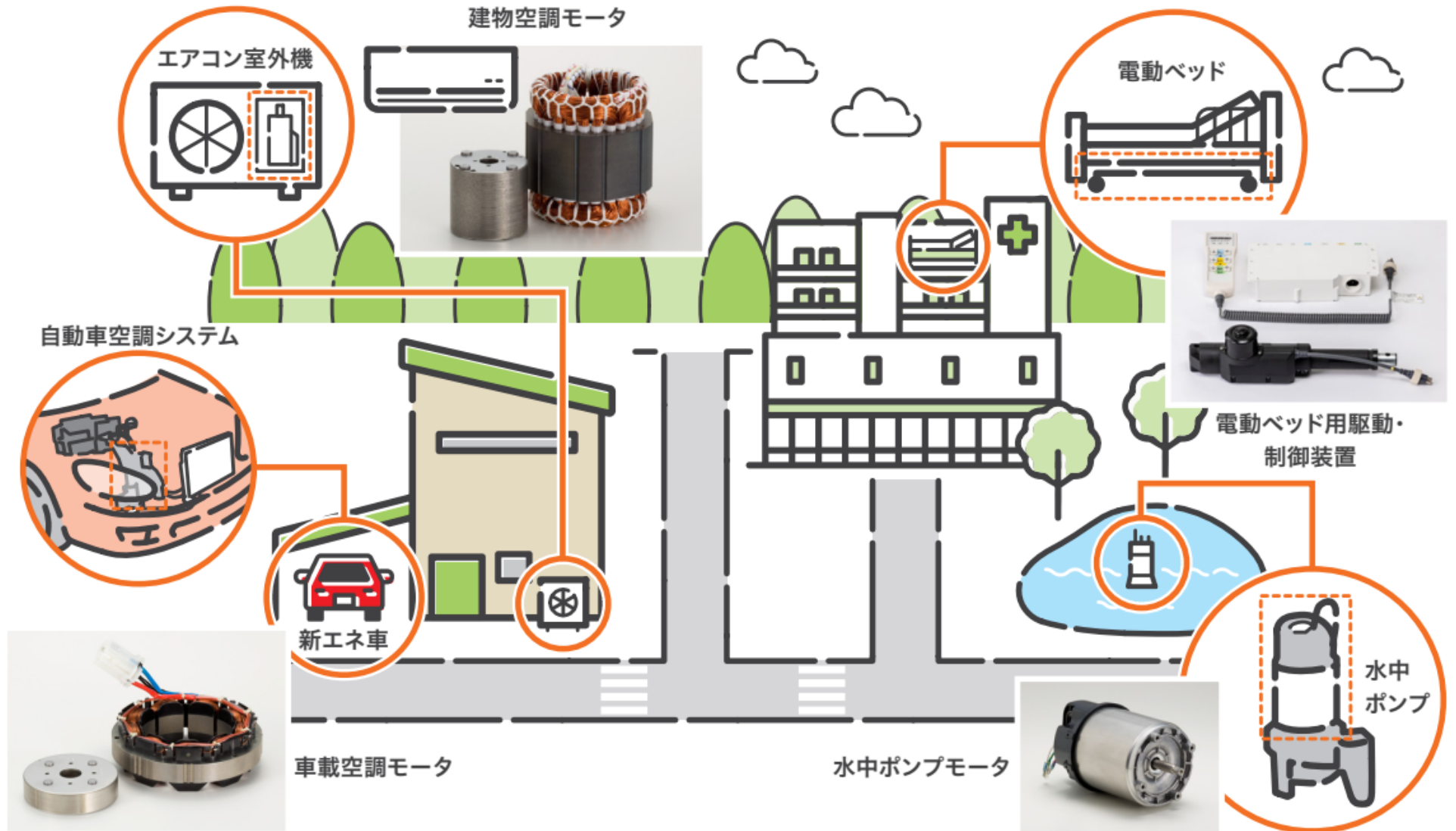


《主な顧客》

国内一般送配電事業者、一般需要家(工場、ビル等)

《2026.3期2Q 製品別売上高の状況》

- ・ 中型変圧器は、一般産業向けのトップランナー変圧器が第三次判断基準への更新前の駆け込み需要などにより堅調に推移。
- ・ 大型変圧器は、一般送配電会社向けの負荷時タップ切替変圧器(LRT)などにより増収。
- ・ 電力システムは、前期のウクライナ向け大型変圧器売上の反動減により減収。

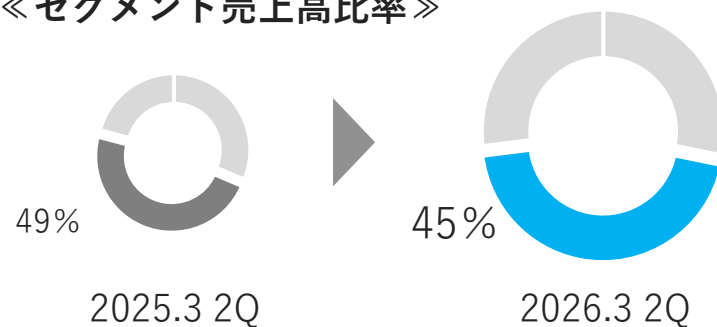


■ 回転機事業としては減収減益

売上高 (単位：億円)

	2025.3 2Q実績	2026.3 2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
建物空調モータ	140	130	△9	△6.8%
車載空調モータ	99	93	△6	△6.5%
モータ応用機器	34	37	+3	+9.2%
その他	6	7	+0	+12.5%
計	281	269	△12	△4.3%
セグメント利益	10	9	△0	△7.3%

《セグメント売上高比率》

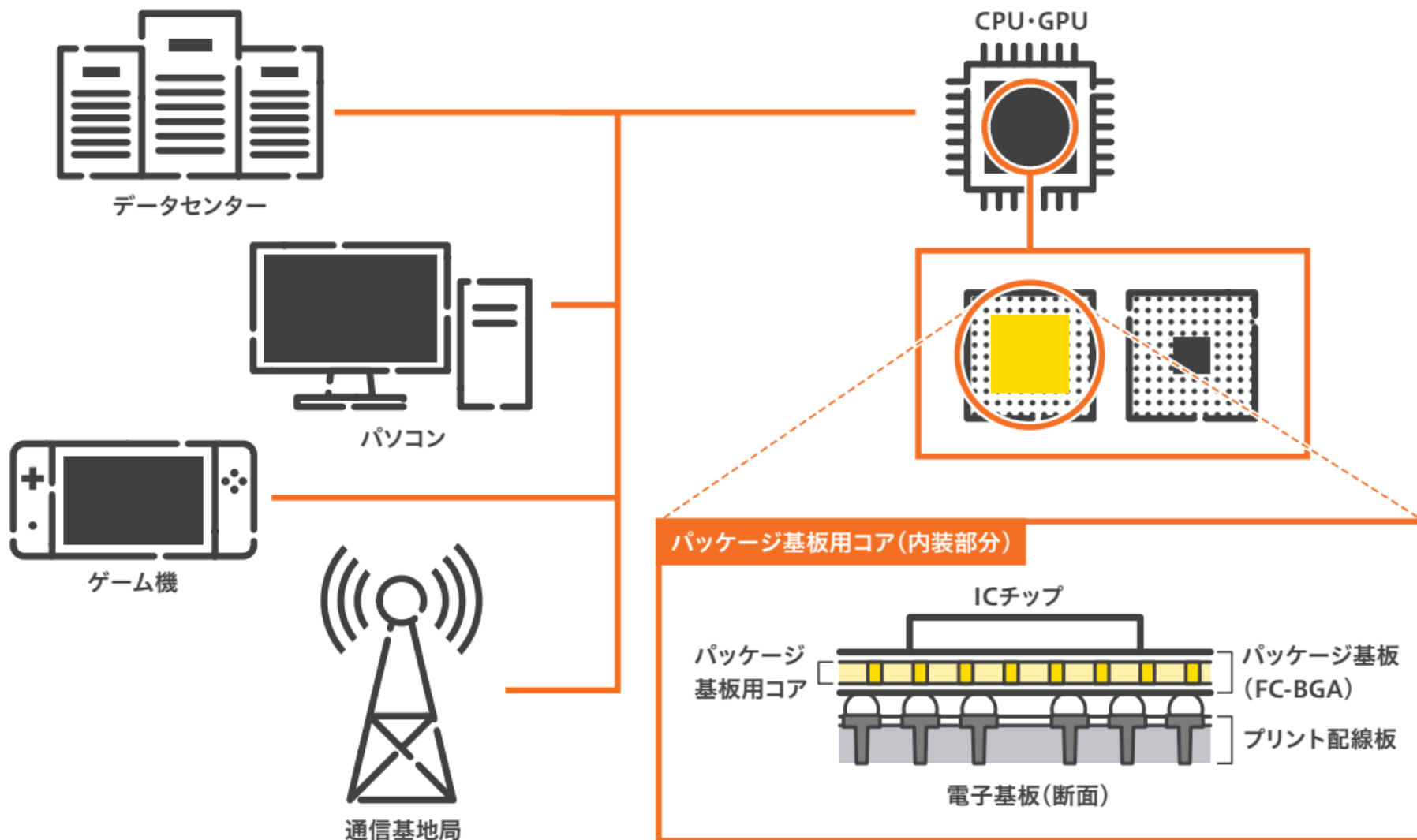


《主な顧客》

家電メーカー、コンプレッサメーカー、介護機器メーカー、ポンプメーカー

《2026.3期2Q 製品別売上高の状況》

- ・建物空調モータは、中国の不動産不況等の影響により減収。
- ・車載空調モータは、HEV需要が堅調もBEV需要が欧米の減速などにより減収。
- ・モータ応用機器は、水中ポンプモータが好調。



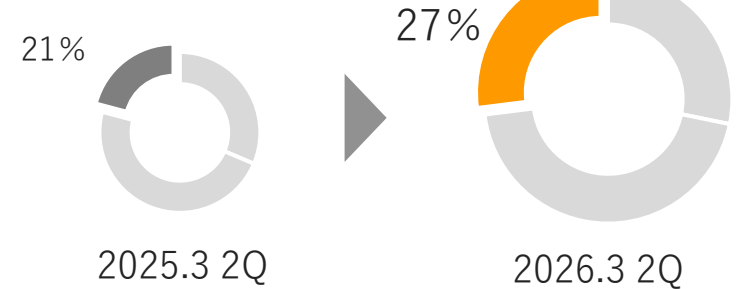
■ プリント基板事業全体で増収増益

売上高

(単位：億円)

	2025.3 2Q実績	2026.3 2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
パッケージ基板 用コア	103	142	+39	+37.7%
一般基板	18	19	+1	+6.4%
計	121	162	+40	+33.0%
セグメント利益	20	29	+9	+46.5%

《セグメント売上高比率》



《主な顧客》

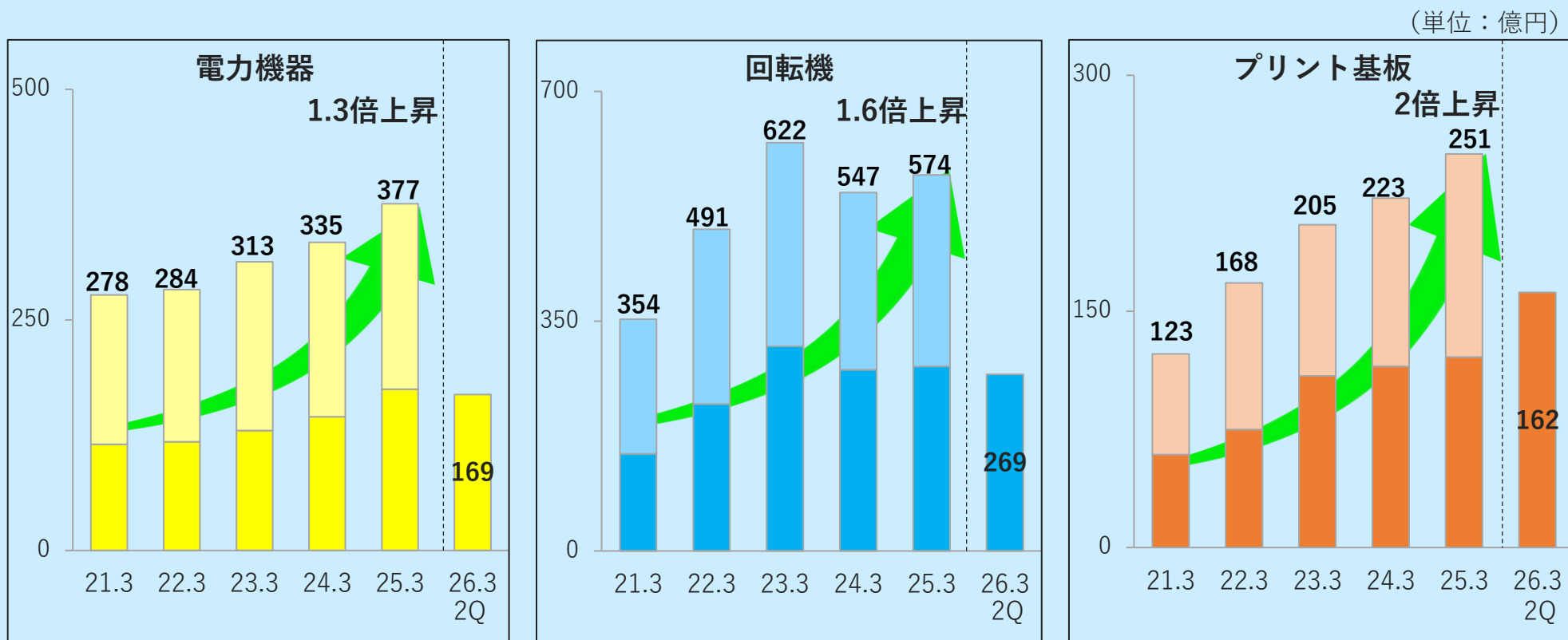
パッケージ基板メーカー、FA機器メーカー 等

《2026.3期2Q 製品別売上高の状況》

- ・パッケージ基板用コアは、顧客によってまだら模様も、全般的には受注が好調に推移し増収。
- ・一般基板は、産業機器向け・FA機器向けなどで受注が回復しつつあり微増。

事業別 売上高推移

- 当社グループは、電力機器・回転機・プリント基板という3つの事業を展開。それぞれ市場変動の波があるが、異なる事業領域であり、グループ全体としてリスク耐性があることが強み。
- 足元5年間の売上高推移をみると、電力機器事業（変圧器など）が安定的に成長するなか、回転機事業（モータなど）が伸長、プリント基板事業（パッケージ基板用コア）が大幅に事業拡大。
- 連結全体では、2021年3月期比で1.5倍（756億円→1,202億円）に拡大。



バランスシート の 状況

- 財政状態は、引き続き健全な状態を維持。
- 自己資本比率は、業績好調により前期末から1.7%増加し57.6%。

(単位：億円)

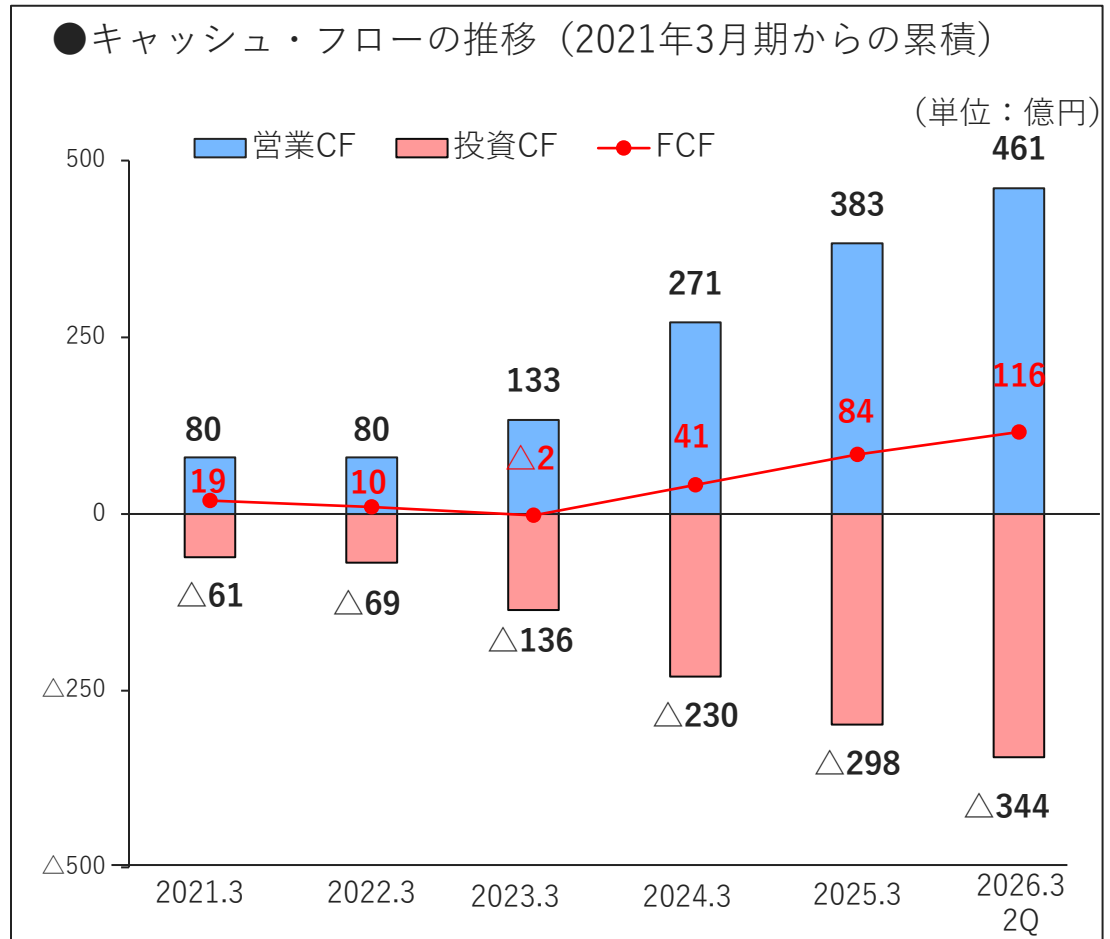
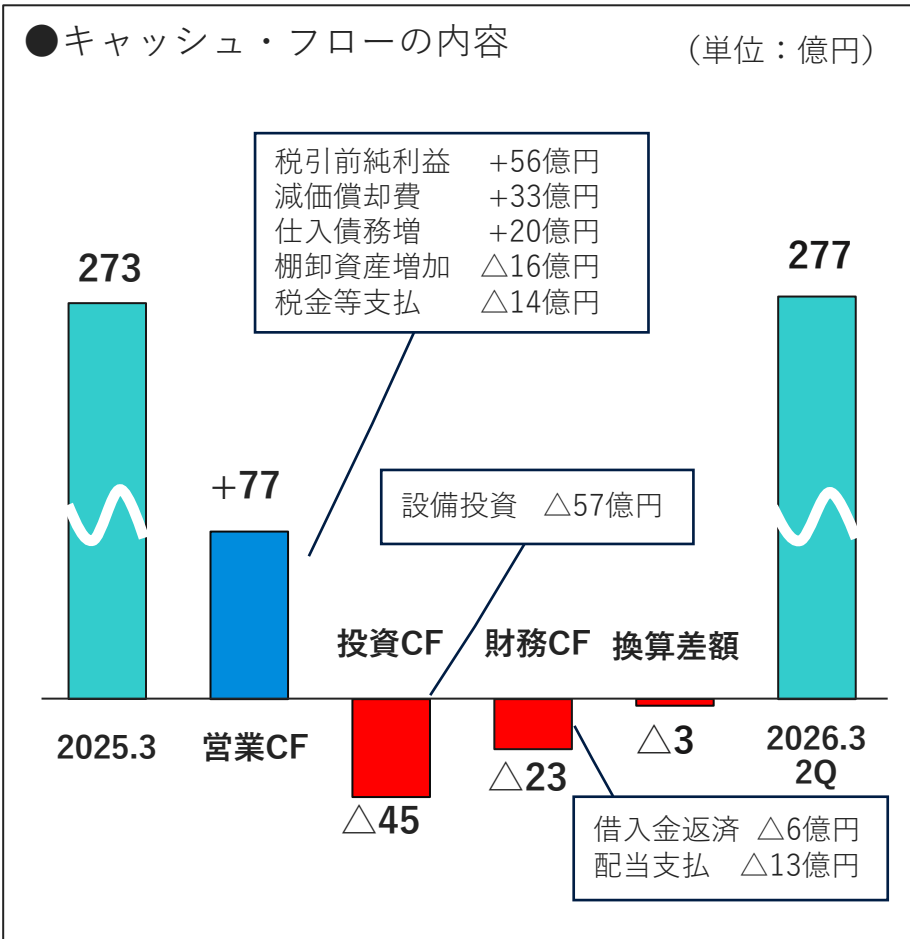
	2025.3.31 実績	2025.9.30 実績	前期末比 増減額
資産合計	1,418	1,413	△5
売上債権	387	369	△18
棚卸資産	199	212	+12
固定資産	525	532	+6
負債合計	607	582	△24
仕入債務	244	257	+12
有利子負債	201	188	△13
純資産合計	811	830	+19
自己資本	793	814	+20
自己資本比率	55.9%	57.6%	+1.7%

(注) 表内は主な項目を記載

キャッシュ・フローの状況

■ 営業CFで77億円の資金を獲得。プリント基板事業の設備投資など投資CFに45億円支出、配当金支払いや有利子負債返済など財務CFで23億円支出したことにより、期末の現金及び現金同等物残高は4億円増加（277億円）。

■ 過去5ヶ年FCFは順調に推移。

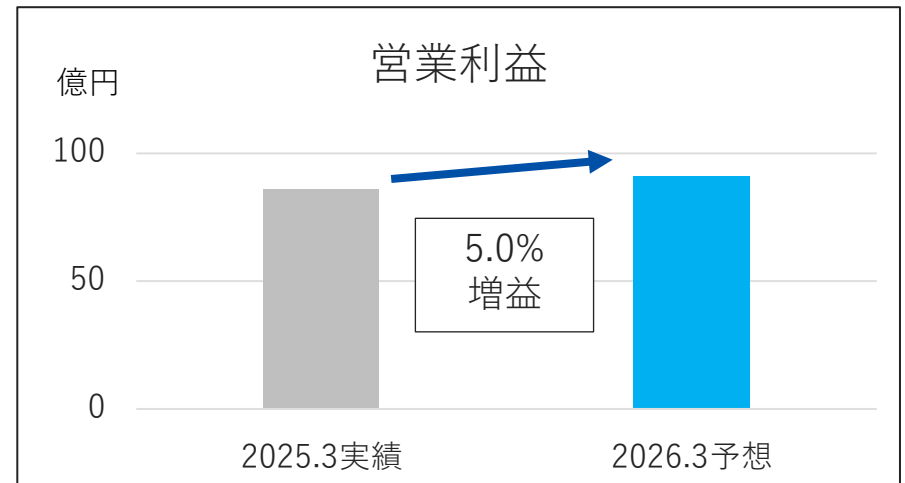
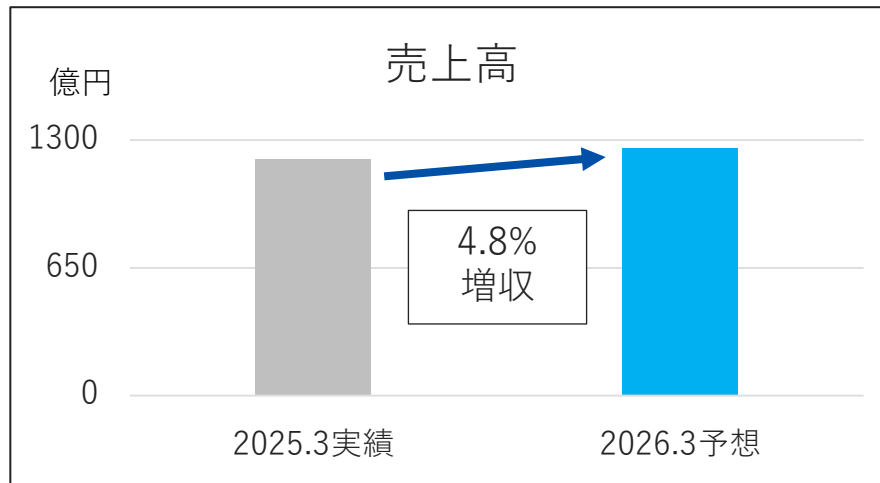


2026年3月期 通期業績見通し


- 中間期に業績予想を修正。
- 当初予想比で減収増益となるも、前期比では増収増益を予想。

(単位：億円)

	2026.3期 当初予想	当初予想比		2026.3期 修正予想	前期比		2025.3期 実績
		増減額	増減率		増減額	増減率	
売上高	1,280	△20	△1.6%	1,260	+57	+4.8%	1,202
営業利益	77	+14	+18.2%	91	+4	+5.0%	86
経常利益	76	+18	+23.7%	94	+0	+0.8%	93
親会社株主に帰属 する当期純利益	53	+14	+26.4%	67	+0	+0.2%	66




電力機器事業

 DXやGXの進展による電力需要増加および高度経済成長期に設置された設備更新などに伴う需要が見込まれる。一般送配電会社向け、一般産業向けともに需要は底堅く、堅調に推移すると予想。


一般送配電会社向け	引き続き底堅い需要に支えられ、全体として堅調に推移する見込み。
一般産業向け	「2026トップランナー変圧器」への切り替えに伴う駆け込み需要などにより、引き続き堅調に推移する見込み。データセンターなど今後の電力需要増加に伴う設備投資状況は注視していく。

回転機事業

 米国の関税政策に伴う各国との貿易摩擦により、サプライチェーンの混乱や世界経済の停滞が懸念される。空調需要については、世界的な地球温暖化やデータセンター向け冷却関連市場の拡大等に伴い堅調。新エネ車需要については、BEVの普及拡大が中国市場に限定され、他地域では販売鈍化。

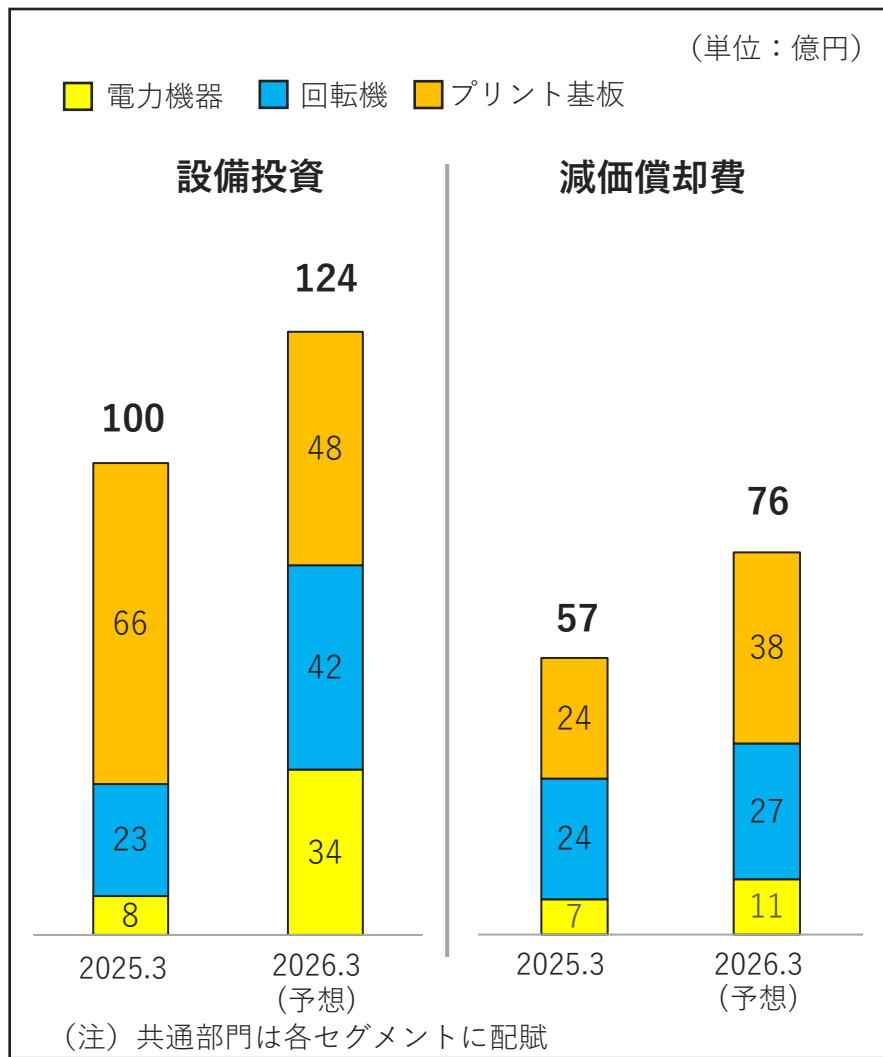
建物空調モータ	国内は受注回復傾向も、中国は不動産不況等により苦戦。
車載空調モータ	HEVは堅調なものの、BEVは北米や欧州で急減速。成長は鈍化している。
モータ応用機器	ポンプ用モータが好調であるものの、介護用機器・工作機械用モータ等の受注が伸び悩み。

プリント基板事業

 生成AI関連でデータ通信量の増により、通信・汎用サーバ向け需要は好調。車載やFA機器向けは在庫調整が一巡し回復しつつある。

パッケージ基板用コア	汎用サーバや通信機器向け需要は顧客によってまだら模様も、全般的には好調。
一般プリント基板	緩やかな回復が見込まれるものの、中国経済の停滞による下振れ影響を懸念。

設備投資額および減価償却費



設備投資の内容

【2025年3月期】 設備投資総額：100億円

セグメント	総額	主な内容
電力機器	8億円	生産設備の維持更新、能力増強など
回転機	23億円	車載空調モータの生産ライン増強など
プリント基板	66億円	パッケージ基板用コアの生産能力増強など

【2026年3月期（予想）】 設備投資総額：124億円予想

セグメント	総額	主な内容
電力機器	34億円 予想	一般産業向けの2026トップランナー変圧器の工場増築および生産設備を導入し、生産能力を従来比1.8倍に増強。投資額は25億円の見込み。
回転機	42億円 予想	車載空調モータの生産設備など。実施については、外部環境を見極めながら検討。
プリント基板	48億円 予想	パッケージ基板用コアの第4期生産能力増強投資(90億円)を2023年度下期から進めており、2025年9月末の進捗率は70%。設備は2025年度下期から順次稼働中。2026年秋頃に設置完了予定。

資金配分・株主還元

中期経営計画期間（2024～2028年度）の資金配分見通し

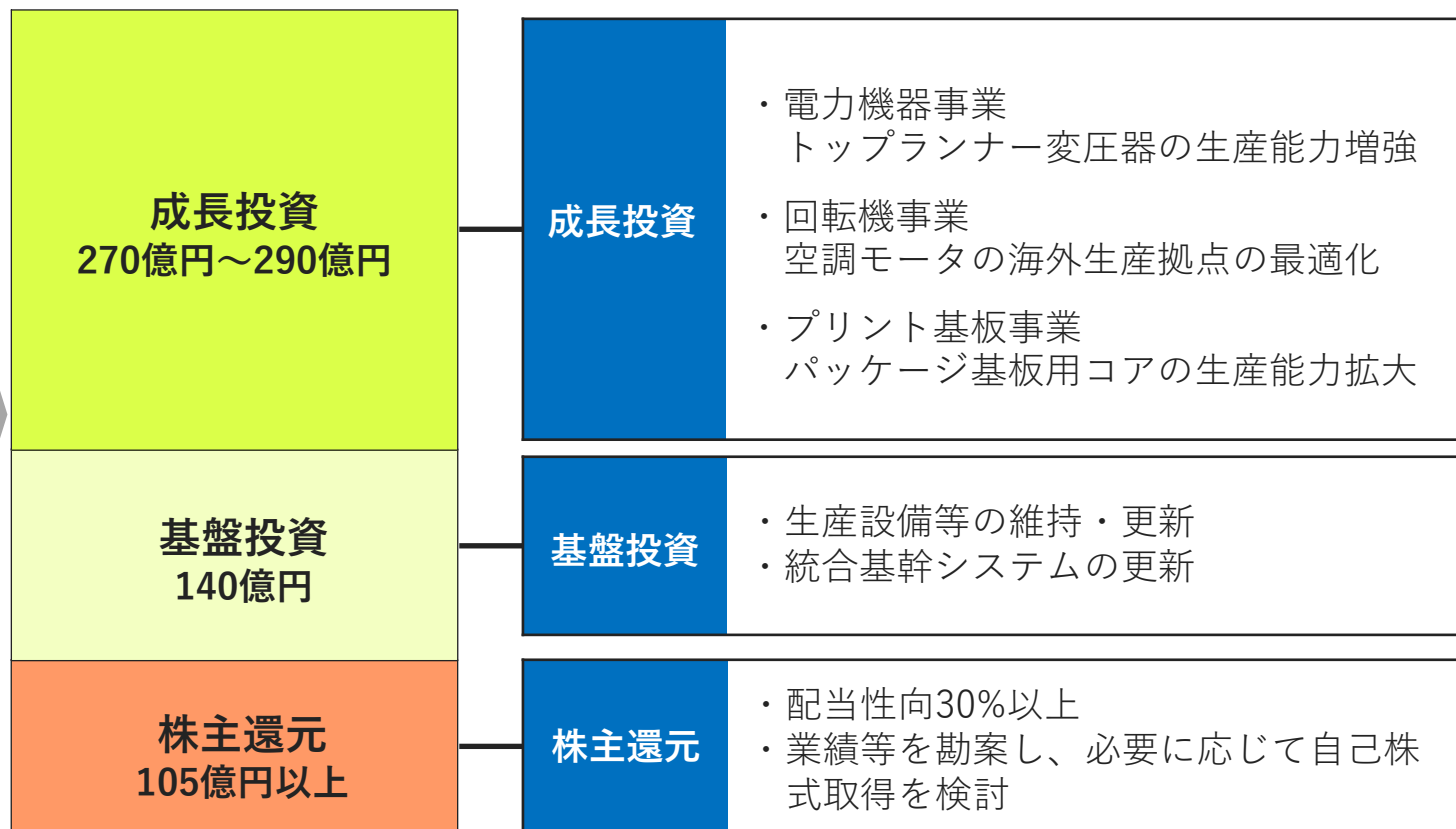
資金配分（キャッシュアロケーション）見通し

創出した営業キャッシュフローおよび資金調達等を原資とし、成長分野への優先的な投資により持続的な成長を目指す。あわせて、株主還元の充実をはかる。

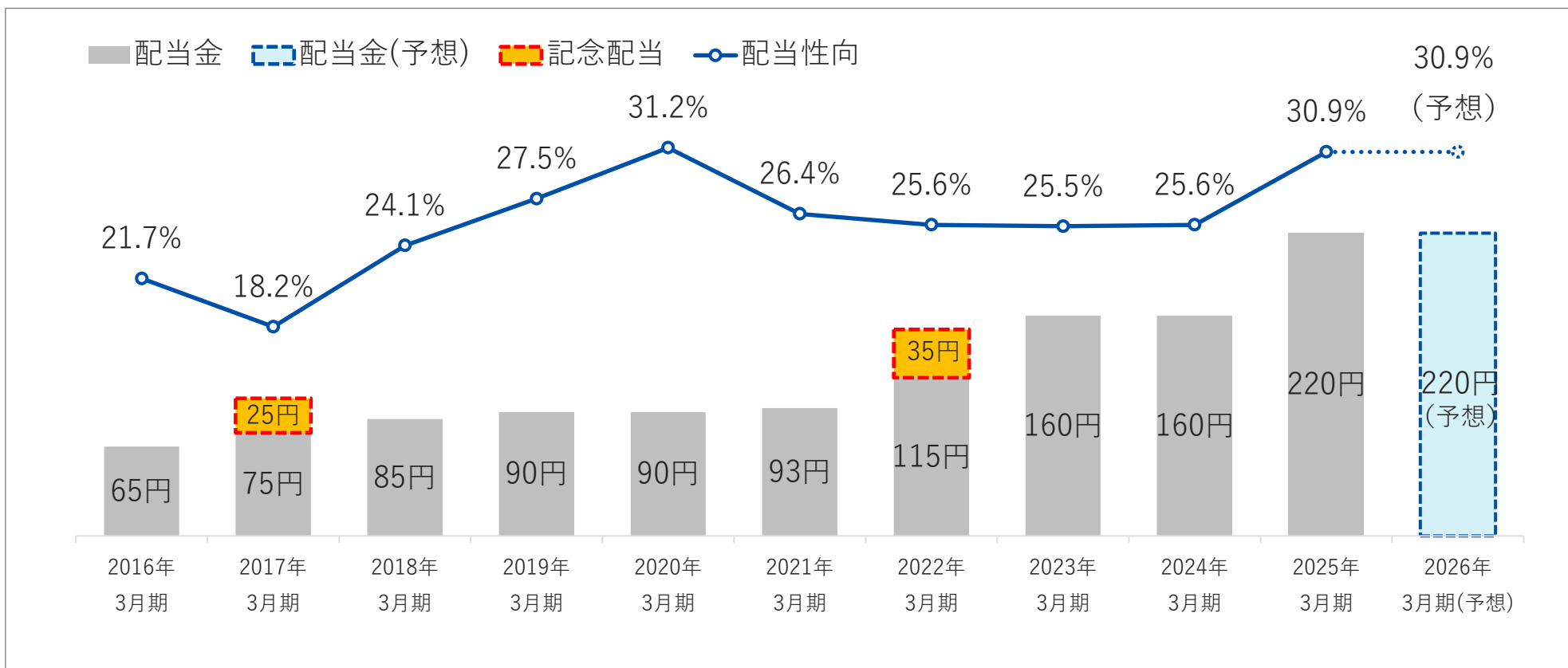
キャッシュイン



キャッシュアウト



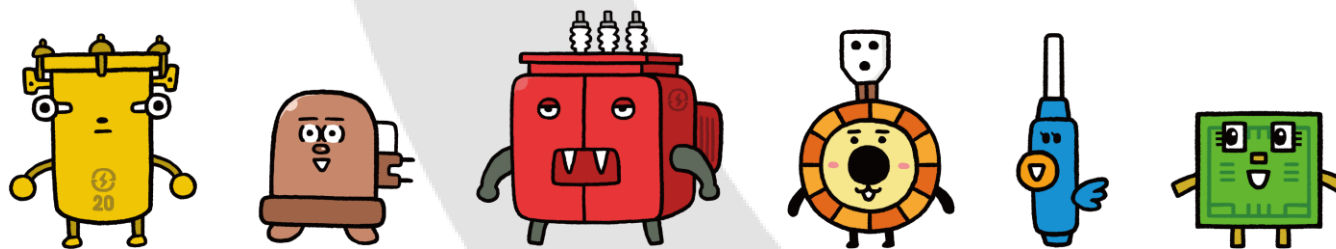
- 株主への安定的な利益還元は経営の最重要政策と位置付け、**連結配当性向の目標を30%以上**とする。
- 中間配当金は**110円**。
- 1株あたり年間配当予想は**220円**。連結配当性向は**30.9%**を見込む。



(注) 2016年10月に普通株式5株を1株に併合しております。
 これにより2016年9月末までの1株当たり配当金額については、株式併合後のものと整合をとるため、実績値の5倍で表記しております。

愛知電機グループは、1942年の創業以来、
技術へのこだわりと、ものづくりへの情熱を伝承し、
電力インフラや快適な生活をサポートする製品を
提供してきました。

これからも、ものづくりを通じて、
豊かな暮らしと持続可能な社会づくりに貢献する
企業集団を目指してまいります。





お問合せ先
管 理 本 部
経 営 企 画 部
広報・IRグループ

TEL 0568-35-1105

<https://www.aichidenki.jp/contact.html>

<注意事項>

本資料の将来計画の数値につきましては、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。